

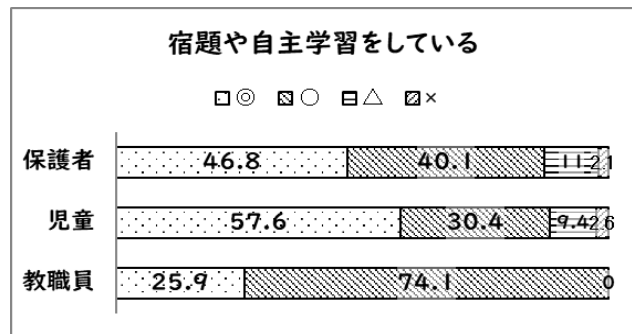
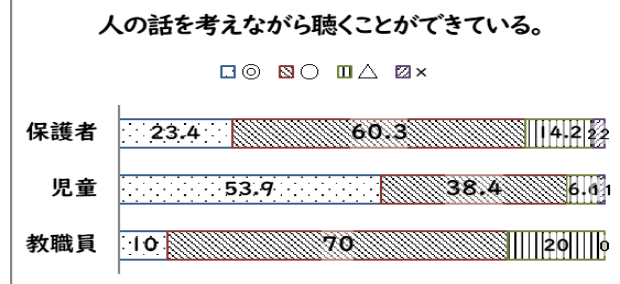
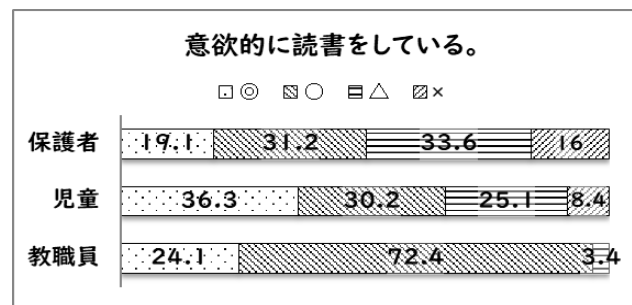
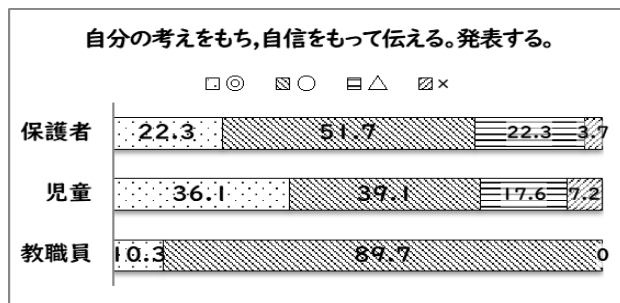
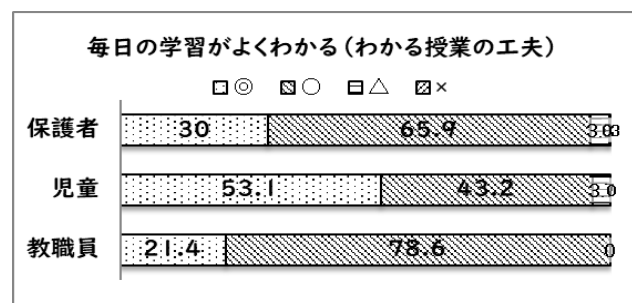
臨時号 学校評価アンケート(12月・2学期末)の結果より

12月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

1学期末アンケートに引き続き、学校教育目標・基礎学力定着・道徳教育など、梅津小学校教育を進める上で、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童・教職員の3者の比較ができるようにしました。保護者の方・児童にはどれだけできているかの「実現度」を、教職員にはどれだけ指導をしているかについての「実現度」を尋ねました。

グラフについては、全て棒の左から◎、○、△、×の評価で表しています。◎・○が「そう思う・だいたいそう思う」、△・×が「あまりそう思わない・そう思わない」です。

確かな学力



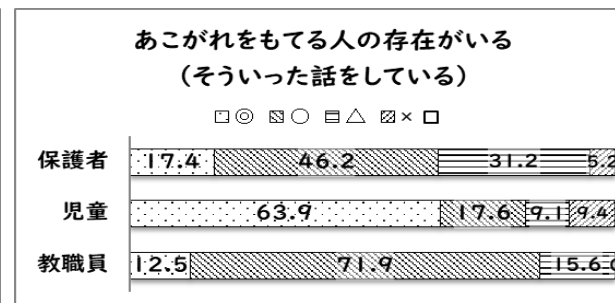
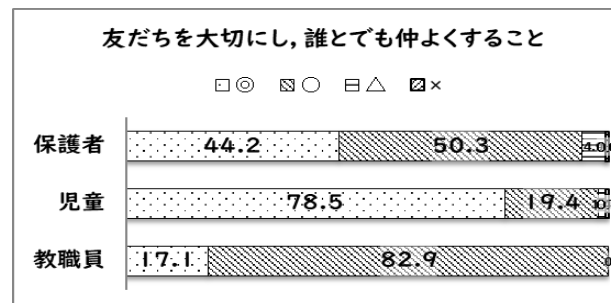
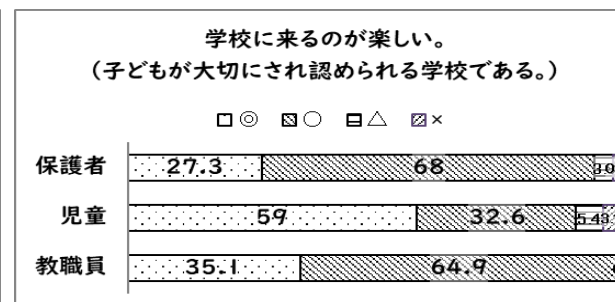
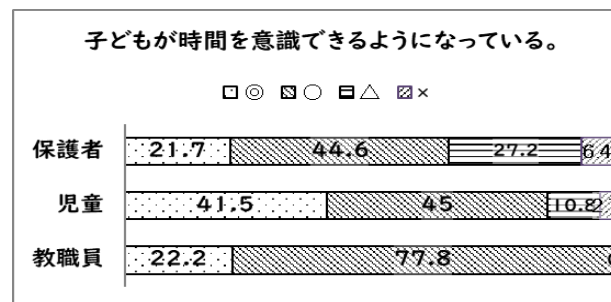
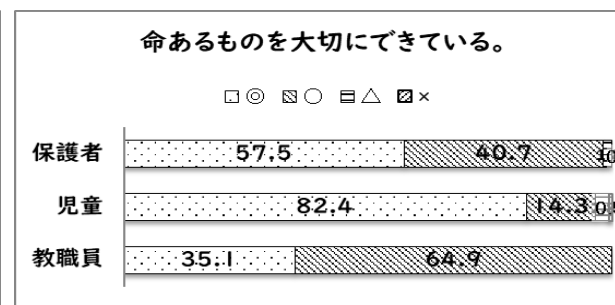
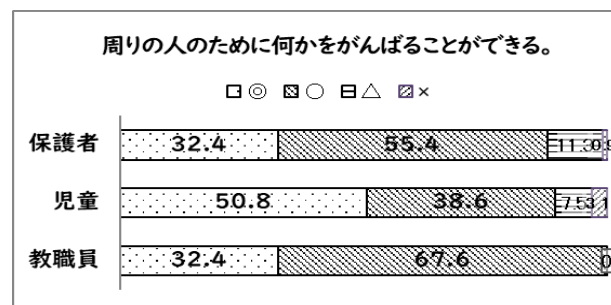
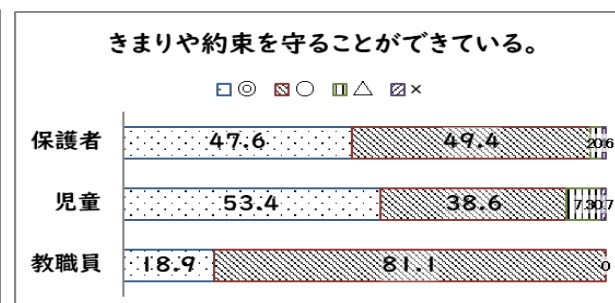
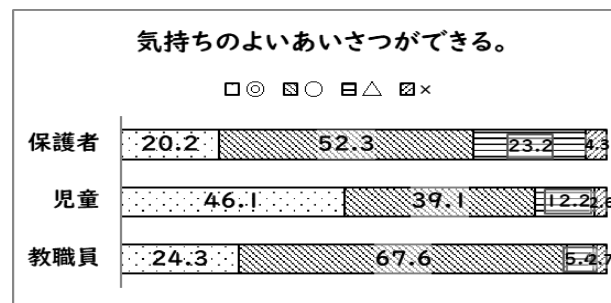
<考察>確かな学力

1学期末の結果と大きく変わった項目はありませんでした。今回も「学習がよくわかる」の項目は、9割以上が満足できるの回答でした。「聞く」項目については、年々高くなっており、普段の学習の様子からも、よい学習規律が身に付いているといえます。

「伝える・発表する」と「読書」には、引き続き課題が残ります。「読書」は、知識を得るに加え、語彙力、文章力、想像力など、子どもたちにとって大切な多くの力を伸ばします。学校でも家庭でも進んで読書をする習慣がつくように本と触れ合う機会を意図的に増やしていくことが大切だと考えます。

「伝える・発表する」児童が友達に「伝えたい」、友達の考えを「聞きたい」と思えるような授業づくりを進めていきます。

豊かな心



<考察>豊かな心

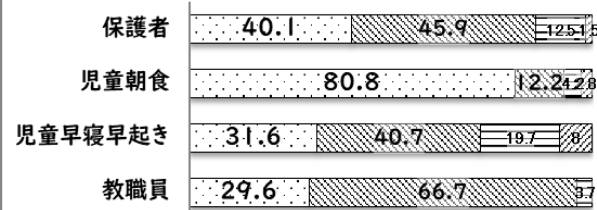
こちらも1学期末の結果と大きく変わった項目はありませんでした。「あいさつ」の項目に関しては、児童の意識と保護者の方、教職員の感じ方に、やや開きがあります。自由記述の欄にもありますが、学校外であいさつができないと感じられる場面が見受けられるようです。引き続き、特定の人のみならず、他者意識・相手意識をもって、進んでコミュニケーションをとる大切さを伝え、いつでも、どこでも、誰にでも気持ちのよいあいさつができる子どもを育てていきたいと思います。

今後も人と人とのつながりを大切に、きまりやルールを守ることの必要性を実感できる取組を推進し、豊かな心を育てていきます。

健やかな体

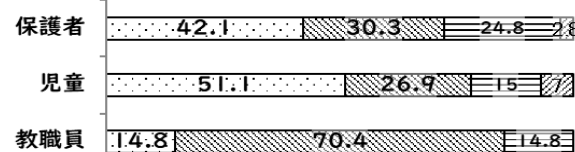
基本的な生活習慣が身についている。
(早寝早起き・朝食)

□◎ □○ □△ □× □



進んで体を動かしたりスポーツ活動に
参加したりしている。(指導している。)

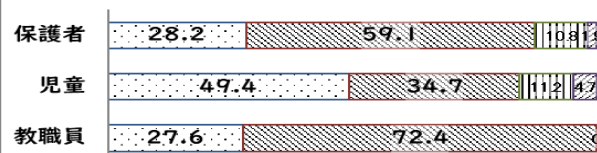
□◎ □○ □△ □× □



連携

子どもの成長や課題の共有

□◎ □○ □△ □× □



<考察>健やかな体

1学期末に引き続き、「朝食をとる」項目に関しては、保護者・児童の数値とも9割近くとなりました。「早寝早起き」「朝食の摂取」「運動習慣」など、良い生活習慣をつけている児童は学力も高い傾向があります。今後も大切にしていただければと思います。

早寝早起きに関しては、引き続き課題があります。特にテレビやゲーム、動画視聴などの時間が長くなり、睡眠時間が短くなっていることが多いようです。質の良い睡眠時間の確保は、日中の集中力や学習姿勢につながります。どうぞ、就寝時刻や就寝に向けての時間の使い方などについてご家庭でも話し合い、よりよい環境づくりをよろしくお願いします。

<考察>連携

今年度は、参観が少なく学級懇談会も実施できておらず、担任と保護者が直接話す機会が減りました。そのため、電話や連絡帳にて連絡を取り合ったり、学年だよりやホームページで学校の様子を発信したりすることで、子どもの成長や課題の共有に努めています。ご質問ご意見がございましたら、些細なことでも結構ですので、遠慮なくお問い合わせください。

～「学校運営協議会」より、評価結果についてのご意見をいただきました～

- ・コロナ禍で大変なことが多い中、学校はがんばってくれています。「学校に行きたい。学校が楽しい。」と思える子が多いのはよいことです。
- ・学び教室で宿題の後に、「自主学習をしよう」という子が多くて、驚くと共に嬉しく思いました。
- ・学校の中では皆、気持ちの良いあいさつをしてくれると感じています。学校外でのあいさつについてはマスクをしていることもありなかなか難しいと思います。私たち大人からしっかり声をかけていきたいと思いました。
- ・気持ちの良い挨拶をしてくださる保護者がおられます。そういう大人の姿を見て、挨拶ができる子どもたちに育つのだと思います。子どもたちに見本を示せる大人を増やすことが大切です。
- ・意欲的に読書をしているかの項目で例年より読書への意識が下がっているのが気になります。コロナ禍で図書室へ行くことが制限されていると聞きました。一番身近な学校図書室へ毎日行くことができる日常が戻ってくるように切に祈ります。また、可能ならばそのお手伝いをボランティアとしてできる限りしたいと思っています。

～自由記述欄より～(⇒部分は学校側の見解です。)

- 学校ではあいさつができていますが、登下校で地域の方や保護者にもっときちんとしてほしいです。

- 旗当番の際に、朝子ども達にあいさつすると、返ってこない子が多い。気持ちのよい挨拶ができる学校になるといいと思います。

⇒前期の学校評価でも上記のようなご意見をいただきました。根気強く大人から声を掛け、気持ちのよい挨拶ができる児童を増やしていきたいと思います。児童によるあいさつ運動も今後の様子をみて、再開してきたいと考えています。

- ランドセルが重いです。出来れば自宅では使用することがない教科書は学校に置いていけるように改善願います。

- 中学年、高学年につれて、ランドセルが重すぎると思います。もう少し教科書など置いて帰れるようにしてほしいです。

⇒学年が上がるに伴い、時間数や教科が増え教科書も厚くなります。学年の実態や教室のスペースに応じて、学校に置いているものもあります。よりよくできるところは、今後も改善をしていきます。

- コロナ禍で 図書室に行く時間が少なくなっているとお聞きしています。コロナが落ち着いている時期には、図書室へ行ける時間を増やしていただけると嬉しいです。

- 子供が読書をあまりしないように思うので、もう少し学校で読書や調べ物を促してほしいです。

⇒「本のもり(図書館)」の開館を制限している時は、少なくとも週一回は「本のもり」へ行ける時間を確保し、一度に3冊まで借りられるようにしています。また、国語科の教材と関連させて、同じ作者の本を読む機会を設けるなどもしています。今度も読書に親しめる場面を増やしていきます。

- コロナ禍の中、行事や参観などを工夫して下さり子供の様子を見られる機会を作っていただけたことをとても嬉しく思っています。心配や不安なことがあった際には細やかなご連絡にサポートと励ましをしてくださったことがすごくありがたかったです。

- コロナ禍で大変な中、工夫をこらし様々な体験・経験をさせていただき感謝しております。

- 勉強が分かるようになってきて自信がついてきたようで、「学校楽しい。」と言うようになりました。いつも丁寧にご指導を頂きありがとうございます。

⇒温かい励ましの声をたくさんいただき、ありがとうございます。これからも子どもたちのために全力を尽くしてまいります。

上記以外にも、学校からのおたよりやコロナ禍における子ども達の心のケア、家庭との連携などに関わってもご意見をいただきました。また、今回、回答していただいたアンケートの結果から、「わかる授業の工夫」「規範意識」など、満足度が高い項目もあれば、「自分の考えを伝えること」「読書」「あいさつ」など、課題が残る項目もあります。アンケート結果を効果的に活用し、継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは方策を考え、よりよい梅津教育を進めていきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。